



おの ともみち
小野 友道 (学術・文化)

昭和15年(1940年)8月23日生
(満83歳)

【写真は本人提供】

小野氏は山口県徳山市(現周南市)出身。熊本大学医学部を卒業後、熊本大学医学部皮膚科助教授、教授を経て、医学部長となる。国立大学法人熊本大学では理事、副学長、大学顧問を歴任し、熊本大学名誉教授となる。熊本保健科学大学では副学長、学長を務め、熊本保健科学大学名誉教授となる。中国協和医科大学名誉教授も務める。また皮膚がん研究では日本皮膚科学会賞を受賞している。

氏は、熊本大学にて皮膚科学・皮膚腫瘍学の第一人者として多くの医学生を指導した。熊本大学で指導した中米の留学生らも、自国の学会で指導的役割を担い、平成元年から13年間、ODA(政府開発援助)で東南アジア諸国の皮膚科医養成コースの講師を務め、教え子たちは各国で教授・国立研究所所長等に就任し、ハンセン病制圧などに力を発揮している。また熊本大学医学部長、副学長を歴任し、国立大学法人化など大学改革に尽力。熊本大学退官後、熊本保健科学大学の副学長、学長に就任。新校舎2号の竣工、大学院保健科学研究科の新設、キャリア教育研修センター開設、リハビリテーション学科言語視聴覚学専攻増設等を行うなど、医療系大学の学長としてチーム医療を支える人材育成にも尽力した。

文筆家としても「いれずみの文化誌」、「木下柰太郎と熊本『五足の靴』天草を訪ねる」等数多くの著書を出版している。「人の魂は皮膚にあるのか」は熊日出版文化賞を受賞した。また、熊本日日新聞に「五足の靴の旅ものがたり」を連載するなど、文化人としての功績が認められ、平成25年に熊日賞を受賞した。また、(財)熊本芸術文化学術振興市民財団理事長、熊本県文化協会及び熊本県文化懇話会の監事、NPO法人くまもと漱石文化振興会理事長など様々な役職を務めている。

昭和41年	熊本大学医学部卒業
平成3年～平成16年	熊本大学医学部皮膚科教授
平成14年～平成15年	熊本大学医学部長
平成15年～平成16年	熊本大学大学院医学薬学研究部長
平成16年～平成18年	国立大学法人熊本大学理事・副学長
平成16年	中国協和医科大学名誉教授
平成18年～現在	熊本大学名誉教授
平成19年～平成27年	熊本保健科学大学学長
平成27年～現在	熊本保健科学大学名誉教授